

栗原 秀峰会 通信

平成27年7月10日 第33号
社会福祉法人栗原秀峰会 広報委員会 発行
〒989-5173
宮城県栗原市金成梨崎道ノ上7-1
TEL: 0228-42-3432
FAX: 0228-42-3433



- 1P 表紙/もくじ
- 2P ごあいさつ/苦情相談委員会報告
- 3P 障害者スポーツ大会
- 4P 平成26年度事業報告/収支決算報告
- 5P 平成27年度事業計画/収支当初予算
- 6P 新任職員紹介/厨房より
- 7P 平成27年度役職員配置
- 8P 寄付者/編集後記

5月31日(日)利府町のひとめぼれスタジアム宮城において第23回宮城県・仙台市障害者スポーツ大会陸上競技大会が行われました。

晴天のもと、当施設の方も身体に汗をにじませながら緊張の面持ちでそれぞれの競技に出場しました。

*なお、特集記事を3ページに記載しております。

よりよい支援をめざして

当法人に見学にみえるご父兄・

ご家族の方々は、地域にある障害者相談支援センターから、色々な情報を得、何ヶ所か見学された後お見えになる方々が殆どです。今までのお子さんの生い立ちや現在の様子等、見学先で幾度となくお話をされたであろう内容を丁寧にお話され、障害のあるお子さんを育てるご苦労、ご家族の悩み、将来に対する不安等共通する内容が多くございます。

現在は、それぞれにサービスを受けられているものの将来的には入所支援施設での生活を希望され出来れば長く生活させていただきたいというものでした。法人からは、現在の入所支援施設の現状をお伝えし、また在宅で入所を希望されている方々の状況の説明をし理解して頂くしかない状況です。

社会福祉法人に関する制度改革が、国会で議論され、近々法改正まで辿り着くものと思われます。しかし、法人施設にとつて日常生活で、いま困っているご家族（本質的にはご本人が一番困つていると思われますが）に『安心』を実感できるような体制づくりをしていかなければならぬと思います。

その為には、確かな人材育成が最も重要であり、得意な専門分野の技術者を地道に育成していきます。

職員一人ひとりが、

『理論』『技術』『実践』

のプロとなれるよう、これなら誰にも負けないというものが持てるよう職員自らが発信できる職員集団となれるよう、努力してまいりたいと思います。



苦情
(第三相談委員会)
相談員会報告

平成二十六年度の苦情・相談件数は多岐にわたるものでした。十一件でした。

相談者	件数	主な内容
利用者様	1件	●個人情報に関すること
ご父兄様	5件	●連絡調整に関すること ●支援内容に関すること ●通院、送迎に関すること
地域住民様	3件	●グループホーム庭木の手入れについて ●パン販売に関すること ●訪問時の駐車について
行政・他事業所	1件	●パン納品に関すること
取引業者	2件	●品質管理に関すること
合計	12件	

入所支援部 ほっとさわべ1
所長 田代修一

の
な
提
職
く
ご
一
相
施
同
設
下
さ
い
。
に
努
め
て
参
り
ま
す
の
で
今
後
と
も
ご
遠
く

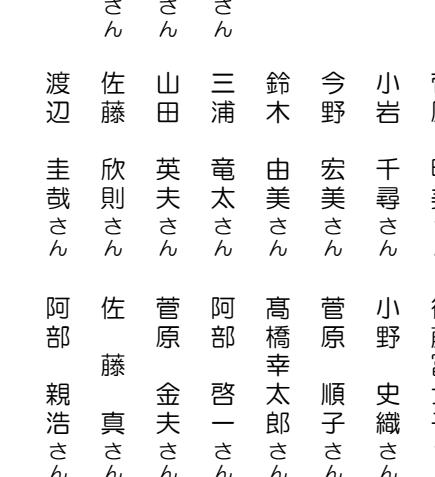
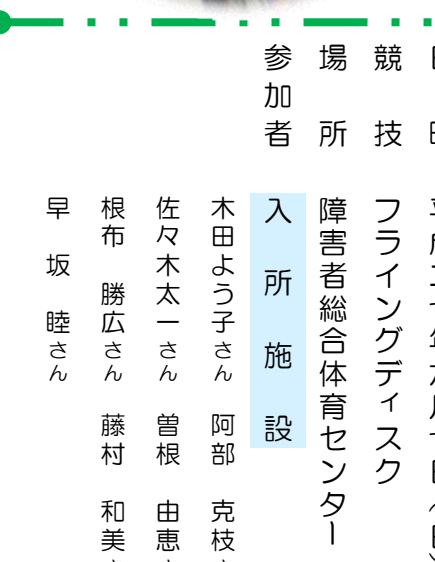
障害者スポーツ大会報告

今年度開催された障害者スポーツ大会に出場された方のご紹介をいたします。

参加者	競技場所	日時
	仙台コロナキャットボウル	平成二七年五月十六日（土） ボウリング大会

日 時	平成二七年五月三十一日（日）
競 技	陸上競技大会
場 所	ひとめぼれスタジアム宮城
參 加 者	入 所 施 設

グループホーム
佐藤すず子さん 菅原 弘子さん
大友真由美さん 高橋 満枝さん
菊田みさ子さん 錦戸 強さん
沼崎さぬえさん 鉄本 明美さん
千種 三男さん 菅原 次男さん



青木浩さん	畠山昭彦さん	高橋清美さん	高橋勝又	高橋宏子さん
佐藤英範さん	曾根健治さん	栗野佐藤	佐藤賢了さん	佐藤一郎さん
相澤久さん	公章さん	粟野	一さん	一さん
澤久さん	高橋	高橋	高橋	高橋
熊坂みつえさん	賢一さん	高橋	高橋	高橋
	福島	高橋	高橋	高橋
	恵子さん	高橋	高橋	高橋

すふりんぐ
くらいせ
「ゆぬH麗」



平成26年度 事業報告

詳細は、ホームページに掲載しております。 <http://k-syuuhoukai.or.jp/>

1 利用者への支援について

利用者一人ひとりのニーズに基づいた個別支援計画を作成するとともに、独自のサービス評価を実施するなど、利用者の人権を基本とし、生活の質や安全で健康に配慮した利用者本位のサービスの提供に努めた。

2 相談支援関係

「相談支援センター あらいふ」においては、相談支援専門員が、利用者や家族からの相談に対して、利用者の立場に立って、丁寧に時間をかけて相談に応じた。また、多様な相談内容に対応できる様、職員の専門性を高めた。

3 人権擁護と虐待防止について

利用者の人権擁護と虐待防止の徹底を図るため、職員会議や研修会などをとおし、理解の共有化の徹底を図り、利用者に対する不適切な行為の防止に努めた。

4 食品安全に向けた取り組みについて

利用者の食事提供、各食品の生産に係る安全性の向上を図るため、法人本部に品質管理責任者、各事業所に品質管理担当者を配置した。食の安全への取り組みは、支援体制の組み立てなどの改善にもつながり、各職員の意識向上につながっている。

平成26年度 決算報告

I 合計資金収支計算書

収入の部		支出の部		(単位：円)
勘定科目	金額	勘定科目	金額	
事業活動収入	663,343,589	事業活動支出	624,472,079	
施設整備等収入	0	施設整備等支出	27,560,920	
その他の活動収入	36,591,016	その他の活動支出	207,524,544	
収入合計 A	699,934,605	収入支出 B	859,557,543	

当期資金収支差額 C=A-B	前期末支払資金残高 D	当期末支払資金残高 E=C+D
-159,622,938	309,463,963	149,841,025

II 合計事業活動収支計算書

収入の部		支出の部		(単位：円)
勘定科目	金額	勘定科目	金額	
サービス活動収益	652,822,156	サービス活動費用	634,209,055	
サービス活動外収益	10,521,433	サービス活動外費用	6,401,296	
特別収益	0	特別費用	1	
収入合計 F	663,343,589	支出合計 G	640,610,352	

当期活動収支差額 H=F-G	前期繰越活動収支差額 I	当期末繰越活動収支差額 J=H+I
22,733,237	638,963,800	661,697,037
その他の積立金取崩額 K	その他の積立金積立額 L	次期繰越活動収支差額 M=J+K-L
35,626,000	205,220,000	492,103,037

III 合計貸借対照表

資産の部		負債の部		(単位：円)
流動資産	199,775,320	流動負債		50,103,989
固定資産	1,344,413,037	固定負債		13,930,025
固定資産（基本財産）	803,587,631	負債の部合計		64,034,014
土地	70,433,400	純資産の部		
建物	730,154,231	基本金		23,097,402
定期預金	3,000,000	国庫補助金等特別積立金		587,218,204
その他の固定資産	540,825,406	その他の積立金		377,735,700
資産の部合計	1,544,188,357	次期繰越活動収支差額		492,103,037
		純資産の部合計		1,480,154,343
		負債及び純資産の部合計		1,544,188,357

平成27年度 事業計画



- 基本理念 「共に幸せに生きる」
- 運営方針
 - 1 利用者の方々の意義のある人生の実現を支援します。
 - 2 利用者の方々の個性を尊重し、質の高い生活を提供します。
 - 3 利用者の方々の「自立」を目標として支援します。
- 基本方針
 - 1 多様なニーズに対応した支援サービスを展開します。
 - 2 利用者の方々が、誇りを持って取り組める生産（日中）活動を目指します。
 - 3 障害者共同生活援助事業（グループホーム）の新たな支援サービスの検討
 - ・策定を行います。
 - 4 人権に配慮した支援サービスを行います。
- 重点事項
 - 1 「福祉型障害児入所施設ステップ」の年齢超過児の移行の課題や、今後の施設運営について、ニーズを見極めながら検討を行います。
 - 2 新たに障害者共同生活援助事業所（グループホーム）を建設し、入所施設利用待機者及び年齢超過児の解消を図ります。
 - 3 利用者の高齢化に伴う支援・重度化する障害支援のあり方やニーズを具体的に検証し、対策・準備を進めます。
- 設置運営施設

福祉型障害児入所施設ステップ	10名	
障害者支援施設 ほっとさわべ1		
施設入所支援	30名	
生活介護	30名	
生活介護（単位Ⅱ）	20名	
障害者支援施設 ほっとさわべ2		
施設入所支援	30名	
生活介護	30名	
生活介護（従たる事業所）	6名	
障害福祉サービス事業所 すくぱりんぐ		
生活介護	30名	
障害福祉サービス事業所 くりこま「ゆめ工房」		
生活介護	20名	
障害福祉サービス事業所 パン工房いそっぽ		
（多機能型）	就労継続支援B型	20名
	生活介護	20名
障害者相談支援センター あらいぶ		
特定相談支援事業		
障害児相談支援事業		
栗原市相談支援事業		
宮城県障害児等療育支援事業		
グループホーム支援センター レガート		
指定共同生活援助	35名	
	（介護サービス包括型）	
- その他事業

* 短期入所（併設型）事業	* 日中一時支援事業
---------------	------------

平成27年度 当初予算

収入の部		支出の部		(単位：千円)
勘定科目	金額	勘定科目	金額	
事業活動収入	723,103	事業活動支出	676,846	
施設整備等収入	44,802	施設整備等支出	144,258	
その他の活動収入	190,623	その他の活動支出	116,053	
		予備費	21,371	
収入合計	958,528	支出合計	958,528	

平成27年度 役職員配置

評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	監事	監事	理事	理事	理事	理事長	役員・評議員
吉田洋子	武石行本	本郷千加子	二階堂明彦	田中正義	菅原隆志	佐藤幸子	小野寺明子	高橋篤子	早坂房悦	石川忠雄	千田晴子	白鳥清喬	吉田洋子	本郷千加子

調理員	栄養士	補看護師	保健師	補課長	課長(兼)	業務員	補務員	事務員	係員	補課長	副課長	参事官	次長	局事務
高橋敬子	高橋弥生	齊藤弘	熊谷悠	佐々木江梨子	佐々木静子	佐藤巧	三浦正	菅原広美	相馬淳子	久野佑也	狩野達也	佐々木江梨子	吉村利幸	佐藤宗幸
高橋ひとみ	熊谷ひとみ	佐々木祐樹	小野寺亞矢	千葉順美	羽賀真澄	小出克啓	岩渕京香	及原菜香	高橋理央	油井美帆	高橋直樹	菊池健太郎	田代修一	菅原幸江
菅原雅世	鹿野敏江	高橋さち子	二本木万利子	小野寺貞雄	五十嵐肇	瀧谷弘芳	小野寺裕佳	石川久美	佐藤優子	佐藤慎平	熊谷慎也	熊谷英昭	長井たかえ	菅原弘智

補助員	支援員	支援員	支援員	支援員	支援員	支援員	支援員	支援員	主査	主幹	所長	ほつとさわべ	部長	入所支援部
熊谷ひとみ	菅原祐樹	佐々木恵	小野寺亞矢	千葉順美	羽賀真澄	小出克啓	岩渕京香	及原菜香	高橋理央	油井美帆	高橋直樹	菊池健太郎	田代修一	菅原幸江
菅原ひとみ	佐々木祐樹	小野寺亞矢	千葉順美	羽賀真澄	小出克啓	岩渕京香	及原菜香	高橋理央	油井美帆	高橋直樹	菊池健太郎	田代修一	菅原幸江	坂本健

補助員	支援員	主査	主幹	所長	ほつとさわべ	部長	入所支援部							
助員	員	員	員	員	員	員	員	員	査	幹	長	1	助員	調理員
助員	員	員	員	員	員	員	員	員	査	幹	長	2	助員	調理員

主査	主幹	所長	次長	部長	係長	所長	次長	部長	支援員	係長	所長	ほつとさわべ	指導員	入所支援部
二階堂俊司	菅原亞樹	山田文	田代恵美	田代明彦	二階堂明彦	菅原みち子	佐藤奈央美	伊藤隼人	菅原登葉子	嘉登葉子	田代明彦	1	千葉紀穂	スティッブ
(次頁へ続く)	あらいぶ	障害福祉サービス部	障害者相談支援センター	あらいぶ	レガート	指導員	指導員	指導員	保育士	保育士	所長	スティッブ	千葉茜	スティッブ

(前頁より)

「おぬしは「おぬし」

補指補指補指補指指職 支 支 支 支 支 支 支 支
導導導導導導導導
助員助員助員助員員業 員 員 員 員 員 員 員 員
菅 久 松 武 阿 二 泉 菅 白 及 相 衡 山 高
原 光 田 石 部 階 堂 千 原 鳥 季 澤 田 橋
千 信 裕 行 秀 嘉 賀 麻 智 純 裕 俊
代 子 子 本 輔 子 実 幸 子 祥 之 介

パン工房いそつぱん



パン工房いそっぷ 法人本部



寄付者



すぷりんぐ

高橋富美雄様（栗原市）
菅原廣則様（大崎市）
佐藤宗幸様（仙台市）
白鳥清喬様（栗原市）
本郷千加子様（遠田郡）
石川忠雄様（仙台市）
小野寺明子様（栗原市）
佐藤幸子様（栗原市）
菅原隆志様（栗原市）
新妻洋子様（栗原市）
菅原幸江様（栗原市）
二階堂明彦様（栗原市）
渋谷静子様（栗原市）
白鳥将夫様（仙台市）
田畠照子様（千葉県）
佐藤幸夫様（栗原市）
理容力トウ様（栗原市）
ひろ美容室様（栗原市）
佐藤一男様（栗原市）
松崎幸司様（仙台市）
鈴木春子様（栗原市）
岩渕正吾様（栗原市）
AASEM様（柴田町）
津田福代様（栗原市）

平成二十六年度にご寄付
(順不同)をいただいた方々です。



切くがイ　ダメのな　一と汗く、皆いい全な　た様障は　りよ雨
り食あ工黒きニ皆コまつのを　さんま国どボ　を害5今まり上新
まべるツ酢まユさ！たとか流大んトす大、ウ　特者月号し美が緑
してそトにし！んナ　なかし会はで。会年リ　集ス・のたしりの
よ元う効はた。をに！今つわたにそす順にタン　でポ6栗　くの季
う氣で果疲。担愛と年てりり向れが位出参グ　お1月原　輝木節
！にす。労　当情し度いが、けだ　は場加や　届ツに秀　く々が
夏　育回　したてかま楽他てけ利大す者陸　け大行峰　季の終
をお毛復　てつ、らすしの練で用事るが上　し会わ会　節縁わ
乗り効や　いぶ厨新。み選習は者な方増大　まのれ通　とがり、
りし果ダ　たり房た　の手でなのボもえ会　し模た信　とな